

令和元年度第 4 回恵庭創生懇談会議事録（要旨）

日時	令和元年 2 月 14 日（金） 15：00～16：10
場所	第 1 委員会室
出席者	小磯 修二（一般社団法人地域研究工房代表理事）
	守山 英男（北海道石狩振興局地域創生部長）
	山谷 秀治（千歳公共職業安定所所長）
	橘内 勇（学校法人鶴岡学園北海道文教大学学長補佐）
	切明 毅（学校法人滋慶学園事務局長）
	高橋 正樹（北洋銀行恵庭中央支店長）
	高島 信之（北海道銀行恵庭支店長）
	大溝 宏（連合北海道恵庭地区連合会長）
	矢崎 哲夫（恵庭工業クラブ（サッポロビール株））
議題	（1）第 2 期恵庭市総合戦略の原案について
	（2）第 2 期恵庭市総合戦略ワークショップの開催について
	（3）地方創生推進交付金の申請予定について

発言者	内容
司会	<p>【次第 1．開催あいさつ】</p> <p>企画振興部次長 大西より開催のあいさつ。</p>
市長	<p>【次第 2．市長あいさつ】</p> <p>委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>これまで皆様方にご意見、ご議論いただき、第 2 期総合戦略が完成しつつあることに心から感謝を申し上げます。本日が新しい総合戦略の策定にあたり、最後の創生懇談会になりますが、総合戦略はワークショップ、議会での議論を経て今年度中に策定する予定であります。</p> <p>今年は市制施行 50 周年の記念すべき年であり、同じ年に新たな総合戦略を策定し、新たな施策を展開できることを大変うれしく思っております。厳しい財政状況が続きますが、乗り越えて可能性の高いまちに相応しい施策を展開して参りますので、引き続き、ご協力賜りますようお願い申し上げます。</p>
司会	配布資料の確認。欠席者の報告。
座長	<p>以下、座長による進行。</p> <p>北海道の地方創生の会議でも、人口減少時代に恵庭市で人口 7 万人を達成</p>

	<p>したことが話題になっていましたが、一つのまちだけが生き延びていくことは難しいと思いますので、厳しい認識で周辺の動きを見ながら新たな時代の政策を検討していくことが重要だと思います。</p> <p>今回は、第2期総合戦略の最終案が示されますので、改めてご意見をいただければと思います。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【次第3. 議事】</p> <p>(1) 第2期恵庭市総合戦略の原案について 説明</p>
座長	<p>前回までに出たご意見は反映されているようですが、ご質問、ご意見はございますか。</p>
副座長	<p>3 ページに関係人口について記載がありますが、観光が主な内容となっていることから、関係人口と表記するのではなく、交流・関係人口とするのが適当ではないかと感じました。加えて、関係人口に対する注釈が9 ページに掲載されているので、関係人口という言葉が最初に記載されているページに掲載すべきだと思います。注釈にある関係人口の考え方についても、通過する人々は関わっていないと思いますので、関係人口化したいということであっても説明としては違和感があります。23 ページに関係人口を表した図がありますが、よりわかりやすいものにする必要があると感じました。22 ページにSDGsの目標が掲載されていますが、印刷の精度が粗く、文字が読めないため改善が必要かと思います。他にも何点かありますが、細かい部分ですので後ほど事務局とお話したいと思います。</p>
座長	<p>関係人口についてのご指摘は重要なことです。関係人口は国が提起したものです。概念が曖昧で、地方創生の政策のテーマにどのように落とし込むかは非常に難しいと思います。私も交流人口がターゲットとなる地域産業活性化と関係人口を結びつけることは誤解を招きかねないと思いました。北海道とつながりのある人々の想いは大きいので、恵庭における関係人口の定義も含めて議論を整理されてはいかがでしょうか。</p> <p>私からの質問ですが、10 ページに産業連関表を活用した地域経済活性化と掲載されており、産業連関表活用事業、RESAS 活用事業、地域経済循環分析活用事業があげられていますが、既存のものを活用するのか、新しいものを作成されるのか、どちらでしょうか。</p>
事務局	<p>RESAS 等の統計データを活用していきたいと考えています。</p>
座長	<p>国が提供しているものは案分法で作られており、市町村の状況を分析して作られていないので精度が粗く、細かい分析には使えないため、独自の産業連関表を作成する動きがあります。既存のものを使うのか、市で作成するのかで大きな違いがあるので、明確にしておく必要があります。</p>
市長	<p>現在ある産業連関表は平成 17 年のデータをもとに作られており、あらた</p>

	なものを令和6年に作成する予定であります。
座長	必要な作業期間や、いつのデータで作成するのかといった専門的な検証が必要ですが、小地域向けの簡易な産業連関分析も普及しており、様々な手法があります。独自の産業連関表を作成することとした方がわかりやすいと思います。産業構造を把握するには、より正確なデータで、個別に聞き取りをしながら作成しますので時間はかかりますが、非常に重要なことだと思いますので、ぜひ挑戦してください。
事務局	道銀地域総合研究所からアドバイスを受けており、道の駅や工業団地の経済波及効果も算出していただけることになっております。
座長	産業連関表があることで経済波及効果の詳細な分析が可能になります。ぜひ新しい産業連関表の作成に挑戦してください。 SDGs に関して、民間でも関連した取組みがされていますが、どのように取り組むのかは難しい課題です。単純に絵で示したからといって市民がわかるというものではないと思います。SDGs のゴールに対して恵庭市が寄与できることをわかりやすく示していかなければならないので、もう少し踏み込んで議論を深め、整理する必要があると思います。
市長	現時点では、SDGs の 17 の目標に向かって、関わりのある施策を並べただけになっており、何をするかは明確になっておりません。SDGs に対する取組みは総合戦略とは別に整理しなければならないと思っております。
座長	基本的にはその認識でいいと思いますが、SDGs のゴールとして抱えている政策目標にうまくつながる恵庭らしい取組みがあれば発信していくような議論が必要だと思います。
A 委員	SDGs の目標にジェンダー平等がありますが、住みよいまちづくりにもつながることだと思います。恵庭市では LGBT の取組みは政策としてどのように考えているのかうかがいます。
市長	LGBT に関する取組みはこれから注力しなければならないと考えております。これから総合計画の後期計画を見直すこととしておりますので、具体的に検討を進めたいと考えておりますが、今回は総合戦略であるため、人口減少等に対応した目標に沿った施策等に限って掲載しております。
座長	全ての政策を網羅している総合計画と、地方創生の総合戦略とで分けて整理されたということですね。今日出たご意見も含めて修正していただいて、よりよいものにしていってください。
事務局	【次第3. 議事】 (2) 第2期恵庭市総合戦略ワークショップの開催について 説明
座長	創生懇談会の委員の皆様も参加されるということですので当事者としてご質問ございますか。現在わかっている出席者の人数はどのくらいですか。

事務局	市議会議員や市民の方からも出席の連絡をいただいております、職員にも参加を呼び掛けるところです。4から6グループにわかれてディスカッションできたらと考えておりますが、創生懇談会の委員の皆様には事務局が補佐しながら進行していくことを想定しております。
座長	グループ分けや発表者の決定はこれから検討するということですね。
事務局	はい。
座長	総合戦略が策定される前であれば、ワークショップで出た意見を盛り込む流れで意見交換ができますが、策定された後に報告を受けてどのように進めていくかという視点になりますね。
市長	総合戦略の内容はほぼ固まっていますが、今年度中に策定としておりますので、そこでのご意見も取り入れられると思います。
座長	私の役割は参加者に対して地方創生についてお伝えすることかと思えます。総合戦略については事務局から説明することになると思いますが、よりわかりやすい説明を心がけていただきたいと思えます。グループディスカッションのシナリオについても早めに作成して準備を進める必要がありますね。私の経験からいくと、同じような内容になってしまう恐れがありますので、分野ごとのグループにするような工夫をした方がいいと思えます。
副市長	参加者の数によりますが、それぞれの所属している関連分野と組み合わせてグループ分けをし、スタッフがサポートするというシナリオにしたいと思えます。
市長	総合戦略の4つの基本目標に沿ったグループ分けをしてディスカッションしていただくと中身のある話になるかと思えます。工夫させていただきます。
座長	前向きな取組みなのでいい形になるといいですね。委員の皆様、ご協力お願いいたします。
事務局	【次第3. 議事】 (3) 地方創生推進交付金の申請予定について 説明
座長	副座長から補足をお願いいたします。
副座長	いしかり・ライフ style の発信によるさっぽろ圏若者定着人材還流促進広域連携事業として、石狩振興局と管内の市での取組みを進めたいと考えています。札幌圏で生活することの利便性を強く発信することで人を呼び込み、定着につながればと考えており、3月下旬に国の採択状況がわかる見込みです。
座長	企業版ふるさと納税に関しては、第2期地方創生の大きな政策だと考えています。これまでのふるさと納税では返礼品に関心が集まっていましたが、地域のまちづくりや政策への興味関心といった本来の形で資金が地域に集

	<p>まるというのは重要な取組みだと思います。恵庭には様々なアイデアと可能性があると思いますので、第2期の目玉にさせていただければと思います。</p> <p>議題は以上ですが、全体を通してご質問、ご意見はございますか。</p>
B 委員	<p>北海道のUIJ ターン新規就業支援事業に恵庭市も取り組むと記載されていますが、これまでの取組みを継続していくのか、新たなものを想定されているのかうかがいます。</p>
事務局	<p>恵庭市として北海道の取組みに参加して、東京 23 区からの転入を促進したいと考えてます。</p>
B 委員	<p>新たな切り口で取り組んでいただければと考えています。進学で北海道から東京に流出してしまう方が多いので、卒業後に北海道に戻っていただければ人口減少を抑制できると思っております。ただ、どこの市町村でも類似した手法が採られているようなので、新たな切り口の視点で取り組んでいただけたらうれしいと思っています。</p>
市長	<p>これまでは、家族に向けた移住の取組みを進めており、学生をターゲットにしたアプローチはしておりませんでした。東京から移住して来た方に金銭を支給するような取組みもしておりませんでした。来年度から北海道と一緒に取り組むことで、市内の企業の人手不足解消にもつながると考えています。どのような方々にどのような手法でアプローチしていくのか、北海道と連携して進めて参りたいと考えています。</p>
座長	<p>他の自治体の地方創生の議論にも参加しており、先週、倶知安の会議がありました。倶知安は全国で唯一、英語を教える仕事をされている外国人のメンバーが参加しています。その方が、これから地方が魅力を高めて活性化していく中における教育の重要性を、実践的な立場でお話しされていました。英語を使って観光客や移住して来た方とコミュニケーションすることで、独自の文化が形成されてきたように思っていて、そういうものを地域の力として新しい地域づくりをしていくのが地方創生ではないかという議論になり、地域が持っている隠れた資源をどのように発揮していくのが重要なポイントになると改めて感じました。他の地域も頑張っていて取り組んでいますので、恵庭もぜひ頑張りたいと思います。</p> <p>では、議事は以上となります。総合戦略策定に向けて皆様方からご意見をいただきましたので、改めてお礼を申し上げます。最後に何かございますか？</p>
市長	<p>令和 4 年に全国都市緑化フェアの誘致を北海道と共同で目指しております。大変大きなイベントで、これまでは横浜などの大都市で開催されていましたが、ぜひ恵庭市で成功させたいと考えております。これまで 30 年以上、市民の皆様が花や庭を育て、花のまちというところまで育てていただきました。</p>

	たので、市民の皆様と一緒に盛り上げたいという想いで誘致することを決めました。様々な団体の方からご支援、ご協力をいただくことになろうかと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
座長	大都市ではなく、小さなまちの良さをいかして盛り上げていけるといいですね。 他にご意見がなければ、事務局から連絡事項をお願いします。
事務局	【次第４．その他】
一同	どうもありがとうございました。